

かていがくしゅうのてびき (1・2ねん)

かめおかしりつ しょうとくしょうがっこう

どうして しゅくだいを するのかな？

べんきょうする しゅうかんを つけるため

べんきょうしたことを しっかり みに つけるため

こつこつと がんばる ころを そだてるため

がんばったあとの よろこびを かんじるため

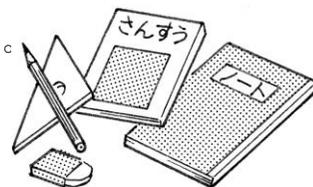
しょうらいの ゆめを かなえるため

まず、きそくたしい せいかつを しましょう。

- よる 9じまでに ねて、つぎの ひの あさ はやおきを しましょう。
- あさごはんを たべ、はいべんを まいにち しましょう。
- きもちの よい あいさつを しましょう。
- すすんで、いえの おてつだいを しましょう。
- テレビや ゲームは あわせて 1にち 2じかんまでに しましょう。

しゅくだいを はじめる まえに

- テレビや ゲームを けして、しずかに しましょう。
- かばんの なかを せいり しましょう。
- つくえの うえを かたづけて おきましょう。



しゅくだいを する じかんと やりかた

こくごや さんすうの
ドリルや プリント
〈30ふん〉

おんどく
けいさんカード
〈10ふん〉

どくしょ
につきなど

☆やりかた☆

あわせて
40ふん

こくご

①おんどく

- ・「,」「。」に きを つけて、おおきな こえで はっきりと よみましょう。
- ・としよの ほんや おうちの ほんなどを すすんで よみましょう。

②かんじや につき

- ・えんぴつを ただしく もって、したじきを しいて、よい しせいで かきましょう。
- ・ひらがな、カタカナ、かんじを ただしく かきましょう。
とくに かんじは 「とめ」 「はね」 「はらい」に きを つけましょう
- ・かきじゅんや おくりがなに きを つけましょう。
- ・につきなど ぶんを かくときは、ならった かんじや カタカナを ただしく つかいましょう。

さんすう

- ・すうじを ていねいに かきましょう。
- ・できたら、じぶんで みなおしを しましょう。

しゅくだいが できたあと

- おうちの ひとに しゅくだいを みて もらいましょう。
- つくえの うえを かたづけましょう。
- えんぴつを けずり、つぎの ひの がくしゅうの よういを しましょう。

ふでばこの なか (もってくるもの)
けずったえんぴつ5、6ぼん あかえんぴつ けしゴム なまえペン じょうぎ など

★このてびきはよくみえるところにはって、たいせつにのこしておきましょう。★